



## 糖尿病連携セミナー

### 必要な治療を連携でスムーズに

H22.9.14(火)



講演する小川晋東北大学准教授

ホテルメトロポリタン仙台に於いて第一回糖尿病連携セミナーが開催され、地域の先生方と糖尿病連携の学習会を行いました。

糖尿病コントロールが難しく新薬を使用した例を三浦内科医院三浦正雄先生から呈示され、出席された先生から質問など活発な意見交換が行われました。また、当院と診療所の先生と連携した糖尿病患者さんの例につき大和一美医師が呈示されました。座長の奥口先生は「患者さんの状態にあった薬剤の選択や治療の重要性・病院と地域の先生との連携が大事であり、病院の役割と開業医の役割がある」とまとめられました。

後半は東北大学准教授の小川晋先生の講演がありました。糖尿病治療経過の病態が

徐々に解明され、高血圧との関連、血管障害の影響などの研究結果を報告していただき、今後の糖尿病治療薬が変化していくことを示唆していただきました。興味湧く最新情報講演でした。



コントロール困難な例(三浦先生)



活発な意見交換



連携した例の検討 (Dr. 大和一美)

## 近所会(連携会)勉強会開催のお知らせ

H23年2月15日(火)ホテルメトロポリタン仙台におきまして地域の先生方との連携強化と情報交換を目的として勉強会を予定しております。(詳細は別途、ご案内致します)  
先生方のご参加をお待ち致しております。

申込先／連携室 TEL 022-236-5899 FAX 022-236-5920

# 整形外科

整形外科部長 鈴木恒彦



鈴木整形外科部長

## 【診療内容】

乳児から高齢者の方まで、全ての年齢層の方の急性発症から慢性期までの診療を行っています。

最近の整形外科は専門分化が進んでおり、外来では火曜日は骨粗しょう症、水曜日は肩関節のそれぞれの専門医が診察に当たっています。

他の整形外科医療機関との連携・協力の基に脳性まひや脳卒中後の麻痺に伴う運動障害に対する整形外科的処理も行っています。術後のリハビリも含め、リハビリ専門医が先頭に立って可能な限り在宅に戻れるようなサービスの提供にも心がけています。

## 【特色・取組み】

### ○脳性まひや脳卒中の障害に対する整形外科的治療

整形外科の一般診療以外に稀な骨粗しょう症専門外来、肩の専門外来、リハビリテーション科との連携の下に、脳性まひや脳卒中後の後遺症としての麻痺に対する装具療法や整形外科的処置を行っています。また、火曜日に骨粗しょう症関連の専門医の外来と装具外来があり、水曜日には肩関節と周辺疾患の専門医の外来があります。



佐藤看護師・三塚看護師

【診療体制】予約をお願いいたします。

担当	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
担当	鈴木 岸本	鈴木 岸本	鈴木 岸本	鈴木 岸本	熊谷	鈴木	鈴木 岸本	鈴木 岸本	予約	予約

## 上手に子宮内膜症と付き合うために (第19回市民公開講座)

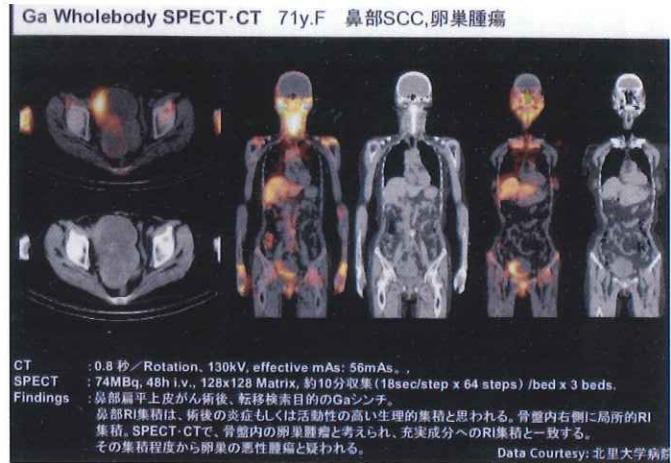
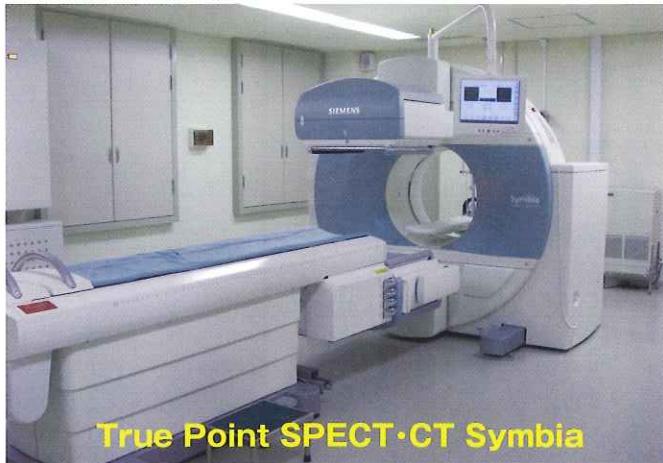
—痛み、不妊との関連、卵巣腫瘍悪性化の問題について— 産婦人科 渡辺 正 部長



H22.7.21(水)

子宮内膜症とは?…子宮内膜が本来存在しないはずの子宮の内側以外の全く別の場所に存在し、そこで増殖する病態であり良性だが進行性の病気である。病巣はいろいろなところにでき色、形もさまざまである。10人に1人は子宮内膜症を持っているが、すべての方が治療の対象になる訳ではない。治療について薬物療法を行う目的は、痛みの除去・軽減の期待、又、内膜症自体の進行、再発を遅らせることを期待するもので、目的にあった治療を行なうことが重要であり、薬だけで完全に治す手段はない。

# 最新のRI診断 SPECT・CT 導入



- 核医学検査装置(ガンマカメラ)が更改され、12月1日より「SPECT-CT」の運用を開始しました。SPECT-CT(スペクト-CT)はガンマカメラと診断用マルチライスCTがひとつになった最新型の装置で、SPECT(断層)像と同時に撮影したCT像を重ね合わせることができます。シンチグラムの撮像時間も今までの装置より短時間で済むようになりました。是非、ご活用いただければと思います。がん、炎症、梗塞などの診断に威力を発揮できます。
- 先生方へーアイソトープ検査では予約を必要としますので連携室に紹介票をFAXにて、申込み戴ければ幸いです。
- 産婦人科及び頸部エコー用に超音波診断装置2台(GEおよび日立)、内視鏡室で内視鏡ファイリング装置、内視鏡マネージメントシステム(オリンパス)の更改がなされました。

## 甲状腺の病気との付き合い方

H22.9.15(水)  
(第20回市民公開講座)



古謝医師

外 科 古謝 進 主任医長

甲状腺ホルモンは発育や成長に必要不可欠であり、新陳代謝を調節する働きを担っています。甲状腺の病気は大きく分けて「甲状腺機能亢進症」「甲状腺機能低下症」「腫瘍性病変」の3種類があります。甲状腺機能亢進症は典型的なものとしてバセドウ病があげられます。手指振戦・動悸・疲労感・発汗・体重減少など様々な症状が現れます。甲状腺機能低下症は最も多いのは橋本病です。機能亢進症よりも分かりにくい病気で疲労感・むくみ・皮膚乾燥・無気力・体重増加などの症状が出ます。腫瘍性病変には腺腫・腺種様甲状腺腫・悪性腫瘍があります。触診で怪しい場合には細胞を取って、良性なのか悪性なのかをきちんと診断する必要があります。甲状腺の病気はヨードが大きく関係しますが、健康に良いからといって極端な食べ方をするのではなく、バランスの良い食事を心がけることが大切です。

甲状腺の病気は治療をきちんと行えば、治療前とは見違えるほど健康になり、通常の生活が送れるようになります。

## 職場訪問(聖ウルスラ学院)…看護師と交流

7月8日(木)15名の高校生が職場見学に来院されました。将来の職業選択が目的で看護師と交流を図りました。看護部から看護師の役割・仕事の内容を説明。さらに1年目看護師、3年目看護師から実際の仕事の内容ややり甲斐、看護師として嬉しかったこと、辛かったことのお話しがありました。

高校生からは看護学校・大学受験時の学習方法、夜勤のことなど質問があり先輩看護師は体験を踏まえて答えていました。また、「看護師の仕事がよく理解できた」「より強く看護師になりたいと感じた」「病院にはたくさんの職業の人が働いていることがわかった」等の感想を寄せていただきました。



看護師の役割等について話される  
鈴木副看護部長

## 近所会親善ゴルフコンペ開催

9月23日(祝日)多数の先生方に参加いただき盛大に親善ゴルフコンペ(西仙台CC)を開催しました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、先生方にはゴルフを中心に行きまで楽しんでいただけたことと思います。ご参加ありがとうございました。

記念すべき第1回の優勝は松永弦先生(松永女性クリニック)でした。



H22.10.1新任医師

よろしくお願いします。

外科 安田 幸治 医師

10月から着任しました外科の安田です。出身は宮城県でS62年に東北大学を卒業しました。

公立刈田総合病院から当院にきました。まだ、慣れないことが多々あります。できる限り頑張っていく所存です。よろしくお願い致します。



安田医師

## Topics Topics Topics



「ビアパーティー」。猛暑の夏、ジンギスカンとビールで銃氣を養いました。  
(H22.7.9)



「七夕飾り」。患者さん、子供さんによる手作りの七夕飾りが完成しました。  
(H22.7.22)



「ファゴット・サックス&ピアノで奏でる秋の調べ」。八木沼医師と神谷真奈美さん。  
(H22.10.20)



「芋煮会」。秋晴れの中、美味しい芋煮をいただき元気いっぱい。  
(H22.10.23)

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1  
NTT東日本東北病院

地域医療連携室

TEL 022-236-5899  
FAX 022-236-5920